

目次

安全上のご注意	3
ニッケル水素蓄電池のリサイクルについて	3
概要	4
特長	4
使用上のご注意	4
各部の名称と使いかた	5
本体上面	5
本体底面	6
ヘッドセットマイク（付属品）	6
電池の入れかた	7
バッテリースペーサー（付属品）の使いかた	8
ウエストベルトの使いかた	9
装着イメージ	9
ベルトの装着のしかた	10
ベルトの外しかた	10
本機の上手な使いかた	11
仕様	12
付属品	13
別売品	13

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

使用するときの注意

次のことを必ずお守りください。

守らないと、聴力障害などの原因となることがあります。

- 使用する前には音量（ボリューム）を最小にする。
- スピーカーを耳に向けて使用しない。
- 動作テストは、人のいない方向に向けて行う。



強制

電池カバーを指で無理に開けない

爪や指を傷つけて、けがの原因となることがあります。

電池カバーが外れにくいときは、コインなどを使用してください。



禁止

内部を開けない、改造しない

改造したりすると、火災の原因となることがあります。

内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。



分解禁止

ベルトの装着、取り外しは両手で行う

ベルトは伸縮性があるので、両バックルをしっかりと持って行ってください。

装着時に手が離れたり、片手で外したりするとバックルが当たって、けがの原因となることがあります。



強制

電池の取り扱いに注意する

次のことを必ずお守りください。

守らないと、電池の液もれ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ショート・分解・加熱をしたり、火の中に入れたりしない。
- 新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。
- 充電式電池以外は充電しない。
- 電池に直接はんだ付けしない。
- 指定した電池を使用する。
- 直射日光・高温・高湿の場所を避けて保管する。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておく。



強制

ニッケル水素蓄電池のリサイクルについて



ニッケル水素蓄電池のリサイクルにご協力ください

本機には、ニッケル水素蓄電池（市販品）が使用できます。

ニッケル水素蓄電池はリサイクルが可能な、貴重な資源です。

ニッケル水素蓄電池の交換および使用済み製品の廃棄に際しては、ニッケル水素蓄電池を取り出し、リサイクルへご協力ください。

概要

定格出力 6 W (単 3 形乾電池 6 本使用時、DC9 V) の小形・軽量のハンズフリー拡声器です。腰にびったり装着することができ、付属のヘッドセットマイクを使用すると両手が自由に使えます。また、付属品と同等のヘッドセットマイク ER-1000HS を別売品として用意しており、特定の個人専用として複数備えておくこともできます。

特長

- 薄く、身体のラインに沿って曲がったスピーカーが、ストレッチベルトで腰にしっかりフィットし、自由な動きを妨げません。
- 本体の中央部に電源スイッチ、音量調節つまみなどを設けているため、左右どちら側の腰にも装着でき、簡単に操作できます。
- 軽量で高性能なネオジウムマグネットを使用した口径 10 cm のコーン型スピーカーを搭載しており、広範囲 (指向性 180°) に音が届くので、屋外使用でも十分な音量が確保できます。
- 予備入力端子 (AUX) に市販のオーディオプレーヤーを接続すると、しゃべりながら音楽も鳴らせます。
- 電池は単 3 形のアルカリ乾電池 (LR6) 6 本で使用できます。付属のバッテリースパーサーを使うと、単 3 形乾電池 4 本でも使用できます。ただし、音量は 6 本 のときより小さくなります。
- 市販のニッケル水素蓄電池 (HR15/51) でも使用でき、環境にも優しく経済的です。
- ベルトにはボッシュを装備していますので、オーディオプレーヤー、予備の電池、バッテリースパーサーなどが収納できます。

使用上のご注意

- 本機は防水構造ではありません。雨天や水滴がかかるような場所では使用しないでください。
 - 万一、次のような異常が起きたら電源スイッチを切り、販売店にご相談ください。
そのまま使用すると、故障の原因となります。
・ 内部に水や異物が入ったとき
・ 音が出ないとき (電池が正しく挿入されており、消耗もしていないことを確認後)
 - 湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、窓を閉めきった自動車の中、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。故障の原因となることがあります。
 - 室内で使用する場合は、壁や天井に音が反射するなどの影響で屋外で使用するときよりもハウリング* が起こりやすくなり、音量を上げることができません。
屋内では、ボリュームを 5 以下で使用してください。(使用環境によって異なります。)
 - 長時間、音が歪んだ状態で使用しないでください。本体内部が発熱し、故障の原因となることがあります。
 - 本機の近くで携帯電話などを使用すると、ノイズが発生することがありますが故障ではありません。携帯電話などは本機からできるだけ離れて使用してください。
 - 寒い屋外から急に暖かい室内に移動した場合には、本機内部に水滴 (結露) が付くことがあります。結露が発生すると、故障の原因となりますのでご注意ください。
 - 公共の場所でご使用いただく際には、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
 - 本機を清掃するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。また、ひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン・シンナー・アルコール類・化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因になります。
- * ハウリングとは、スピーカーから出た音をマイクが拾ってしまい、その音をまたアンプが増幅し、さらにスピーカーが拡声するという一種のループ状態が生じて、キーンという音がすること。

各部の名称と使いかた

■ 本体上面

ボリューム [VOL]

スピーカー側へ回すと音量が大きくなり、反対方向へ回すと、音量が小さくなります。

ご注意

- 予備入力 (AUX) の音量調節はできません。接続した外部機器側で行ってください。
- マイクをスピーカーに向けてたり、近づけたりしないでください。また、マイクを手などでふさがないようにください。ハウリングの原因となります。

マイクをスピーカーに近づけない マイクを手などでふさがない

※ ハウリングを起こしたときは、マイクをスピーカーから遠ざけるか、音量を下げてください。



電源表示灯

電源を入れると点灯し、切ると消灯します。

ご注意

使用中に暗くなったり、点灯しなくなったりする場合は電池が消耗しています。新しい電池に交換してください。

スピーカー
拡声する方向に
向けてください。

※ 図はウエストベルトを省略しています。

電源スイッチ

押すと電源が入り、マイク入力、予備入力の拡声ができます。もう一度押すと電源が切れます。

ご注意

使用後は必ず電源スイッチを切って、電源表示灯が消灯していることを確認してください。電源を切り忘れると、回路に電気が流れ続けて電池が消耗します。

防塵キャップ

ほこりによる接触不良を防ぐため、使用しない入力ジャック (MIC/AUX) に挿入します。
※ 工場出荷時は、AUX 側に挿入されています。

予備入力端子 [AUX]

市販のオーディオプレーヤーなどの外部機器を接続します。
φ3.5 ステレオミニプラグケーブル (抵抗なし) をご使用ください。
-10 dB (0 dB = 1 V)、2 kΩ、
φ3.5 ステレオミニジャック
※ マイク入力端子 (MIC) と同時使用すると、ミキシングして拡声します。
※ モノラル入力にも対応できますが、音量は小さくなります。

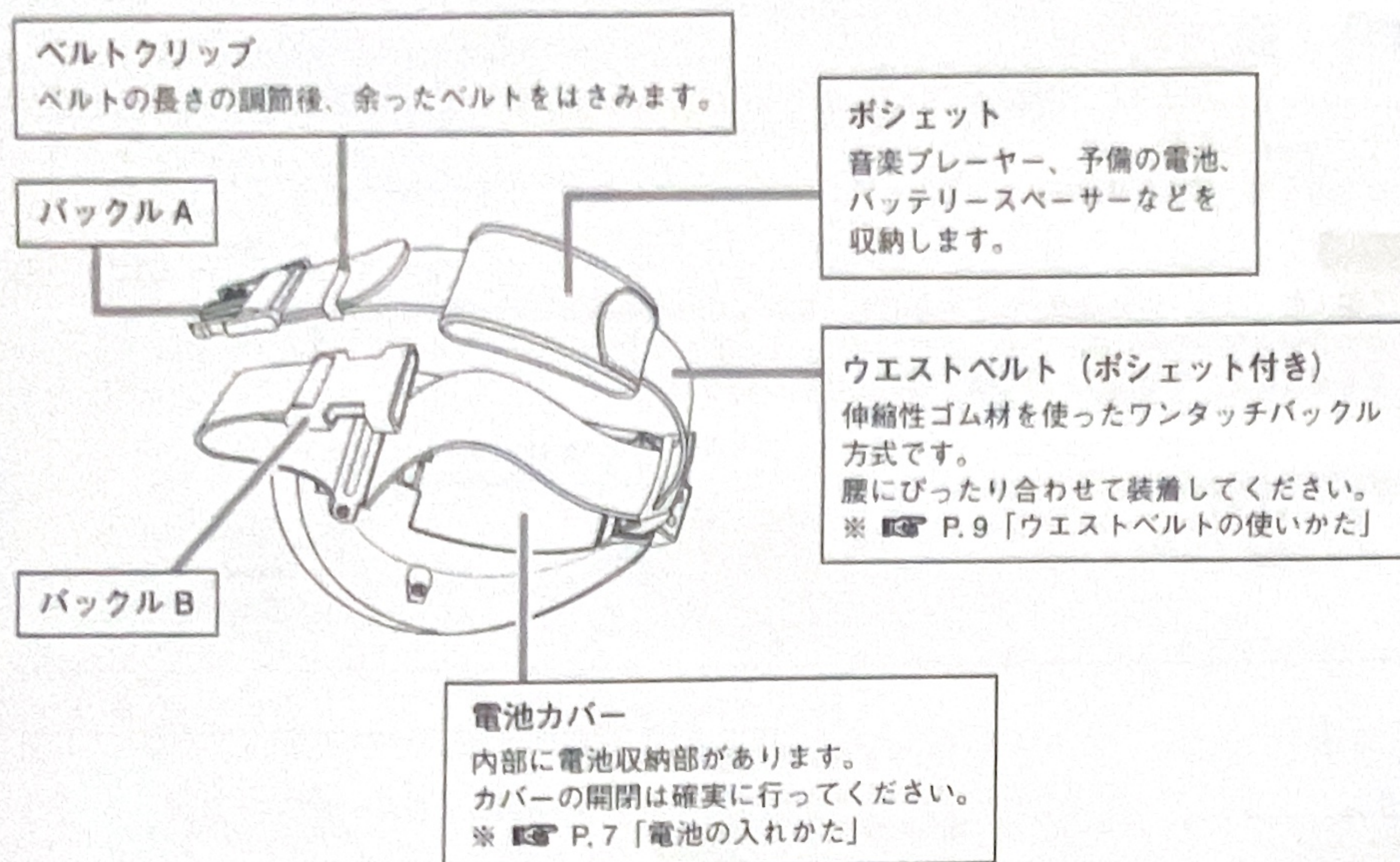
ご注意

音量調節は本体ではできませんので、外部機器側で行ってください。

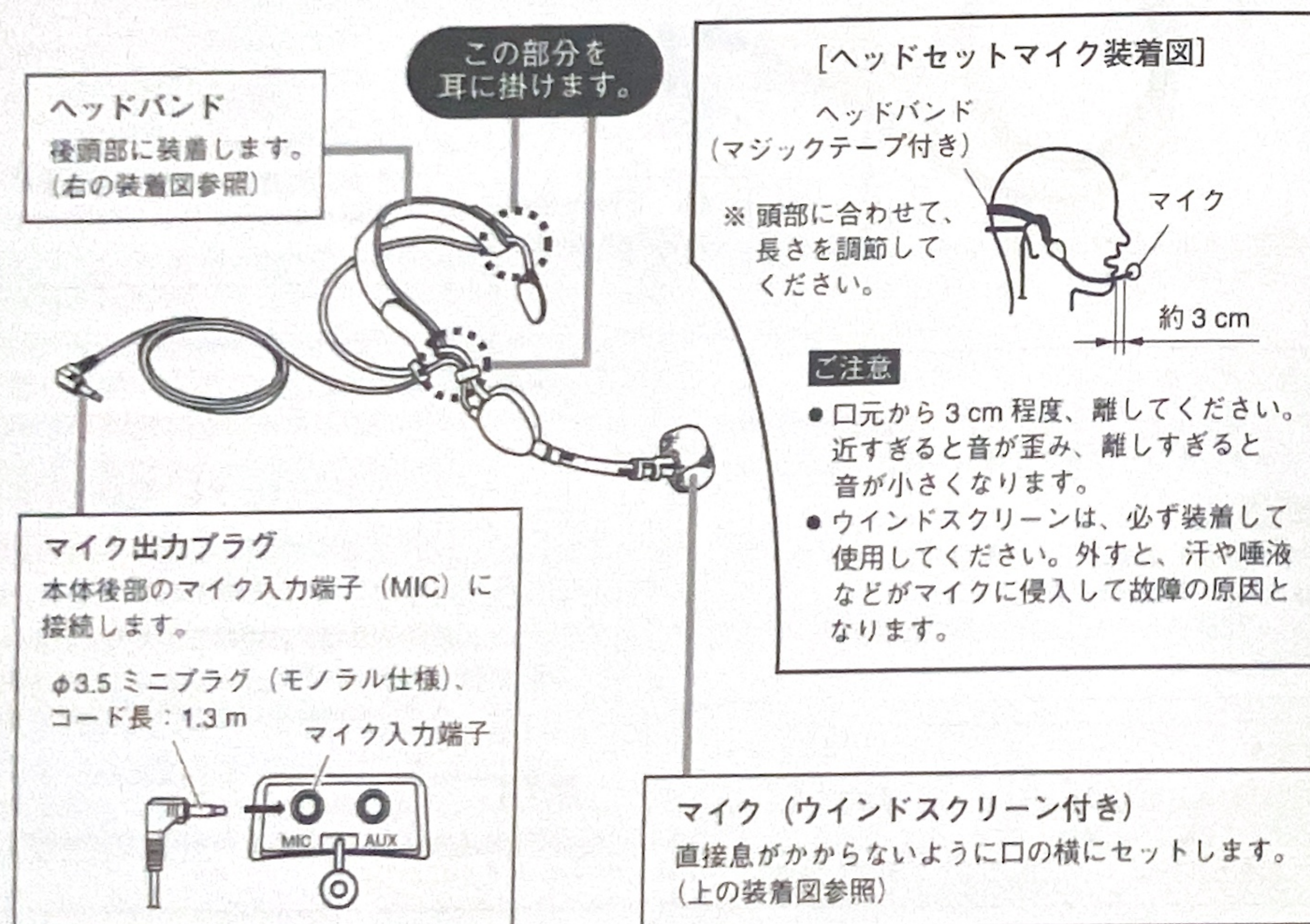
マイク入力端子 [MIC]

付属のヘッドセットマイクの出力プラグを接続します。
-30 dB (0 dB = 1 V)、3 kΩ、
φ3.5 モノラルミニジャック、
ファンタム電源供給
※ 予備入力端子 (AUX) と同時に使用すると、ミキシングして拡声します。

■ 本体底面



■ ヘッドセットマイク (付属品)



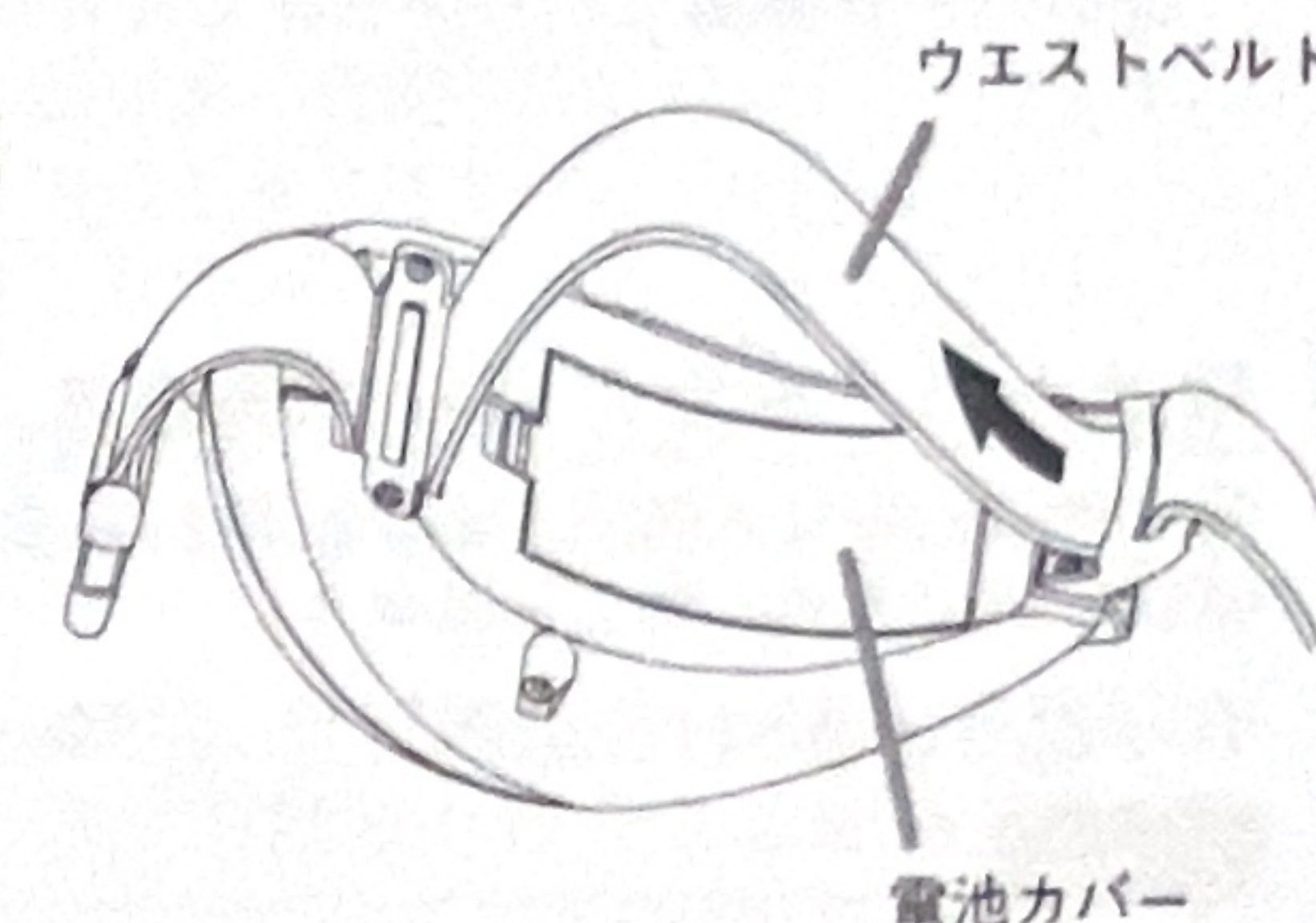
電池の入れかた

使用できる電池は、単 3 形のアルカリ乾電池 (LR6) またはニッケル水素蓄電池 (HR15/51) です。電池は必ず同じ種類のものをお使いください。

※ 電池は付属していませんので、別途ご用意ください。
※ 手順 2～4 の説明図は、ウエストベルトを省略しています。

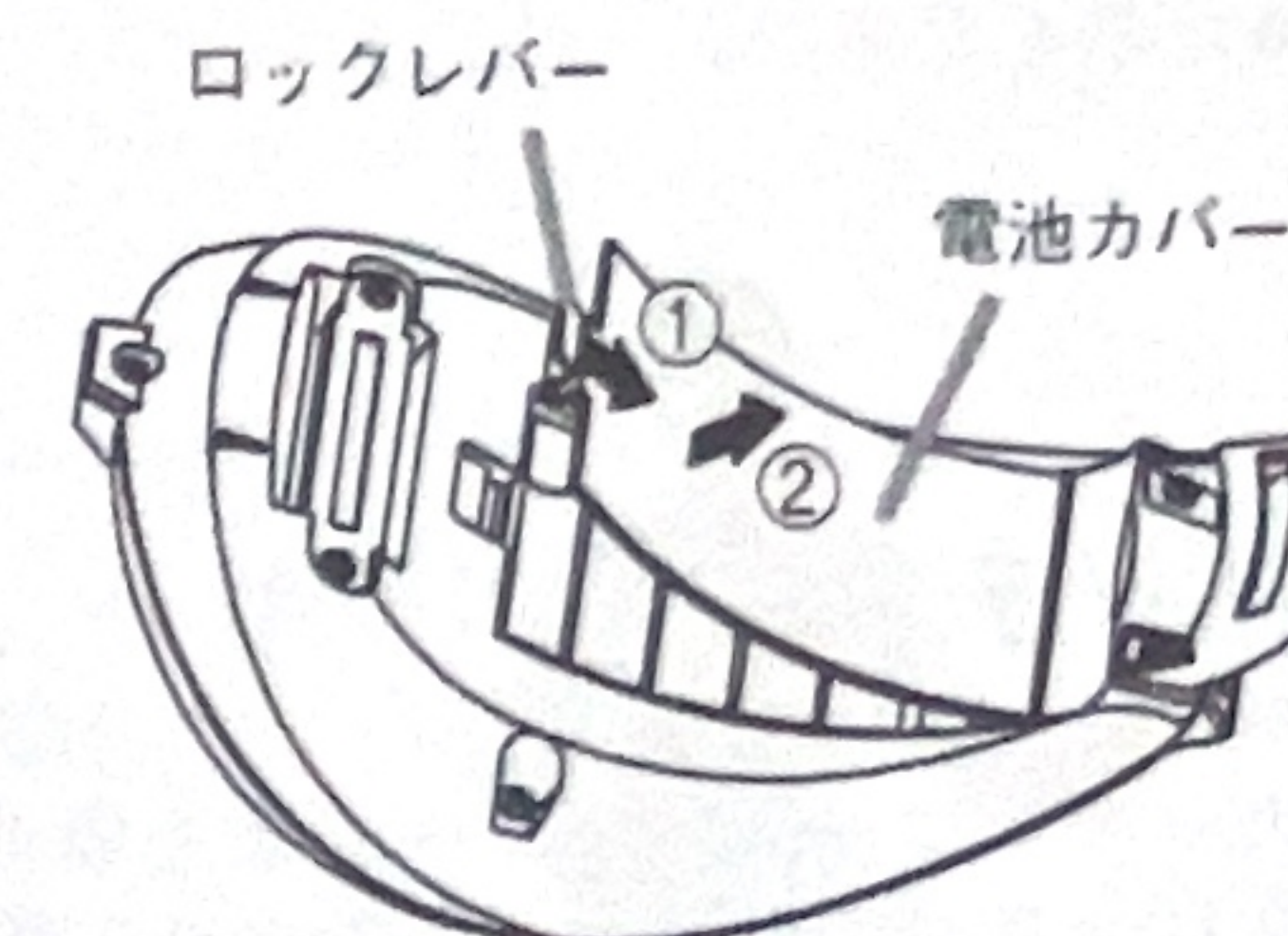
1 ウエストベルトをずらし、電池カバーが開閉できるようにする。

電池収納部はベルトの下に隠れていますので、ベルトを矢印方向にずらします。



2 ロックレバーを矢印方向に押してロックを解除し、電池カバーを取り外す。

① → ② の手順で行います。



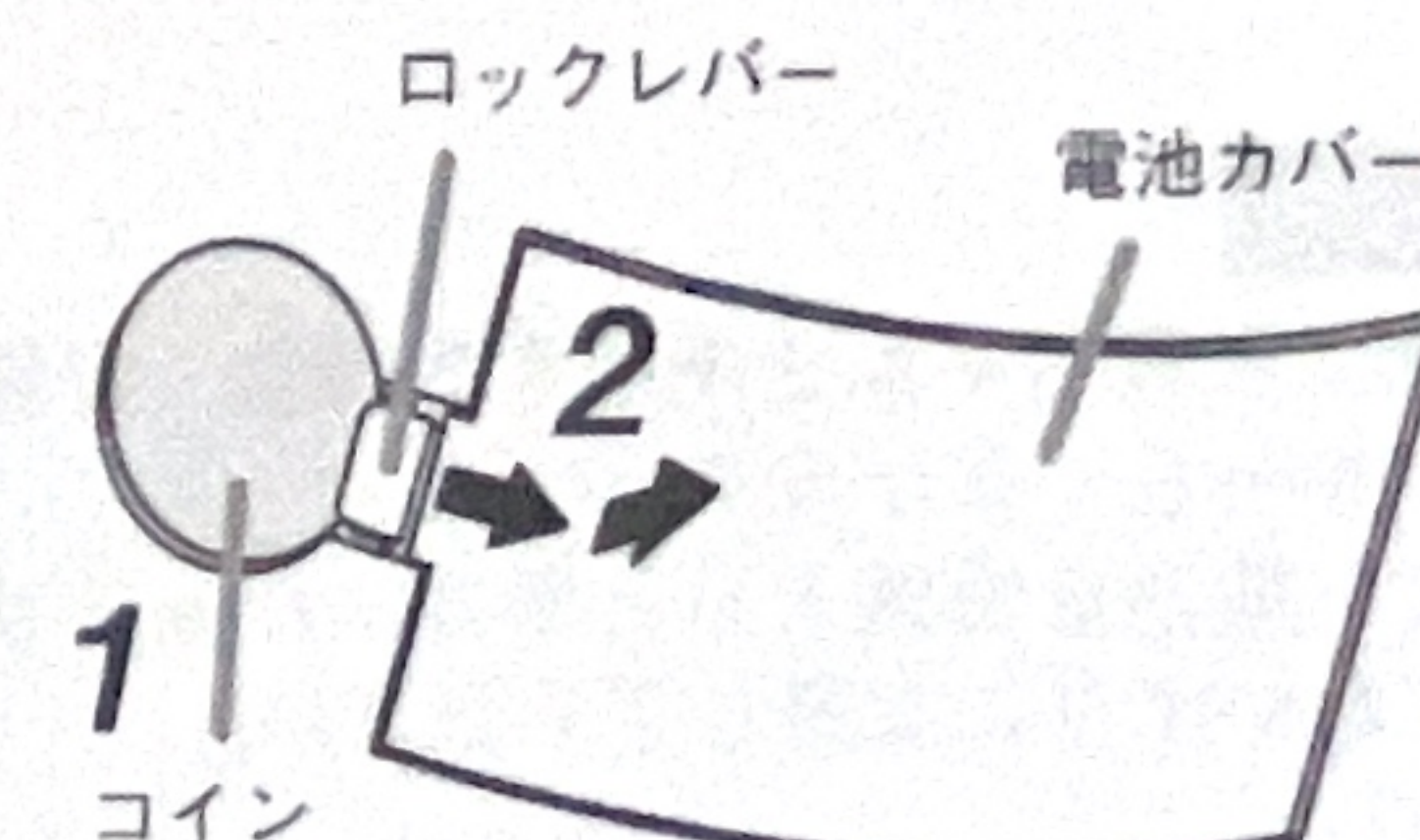
電池カバーが外れにくいとき

本機の電池カバーは、不用意に開かないようなロック構造になっています。電池が浮いた状態で電池カバーを無理に取り付けたり、衝撃などで電池が浮き上がったりすると、電池カバーが変形して、外れにくくなる場合があります。電池カバーが外れにくいときは、電池カバーの中央部を指で押さえて変形を戻し、コインなどを使用すると開けやすくなります。

[コインを使った電池カバーの外しかた]

1 電池カバーのロックレバー部にコインを差し込む。

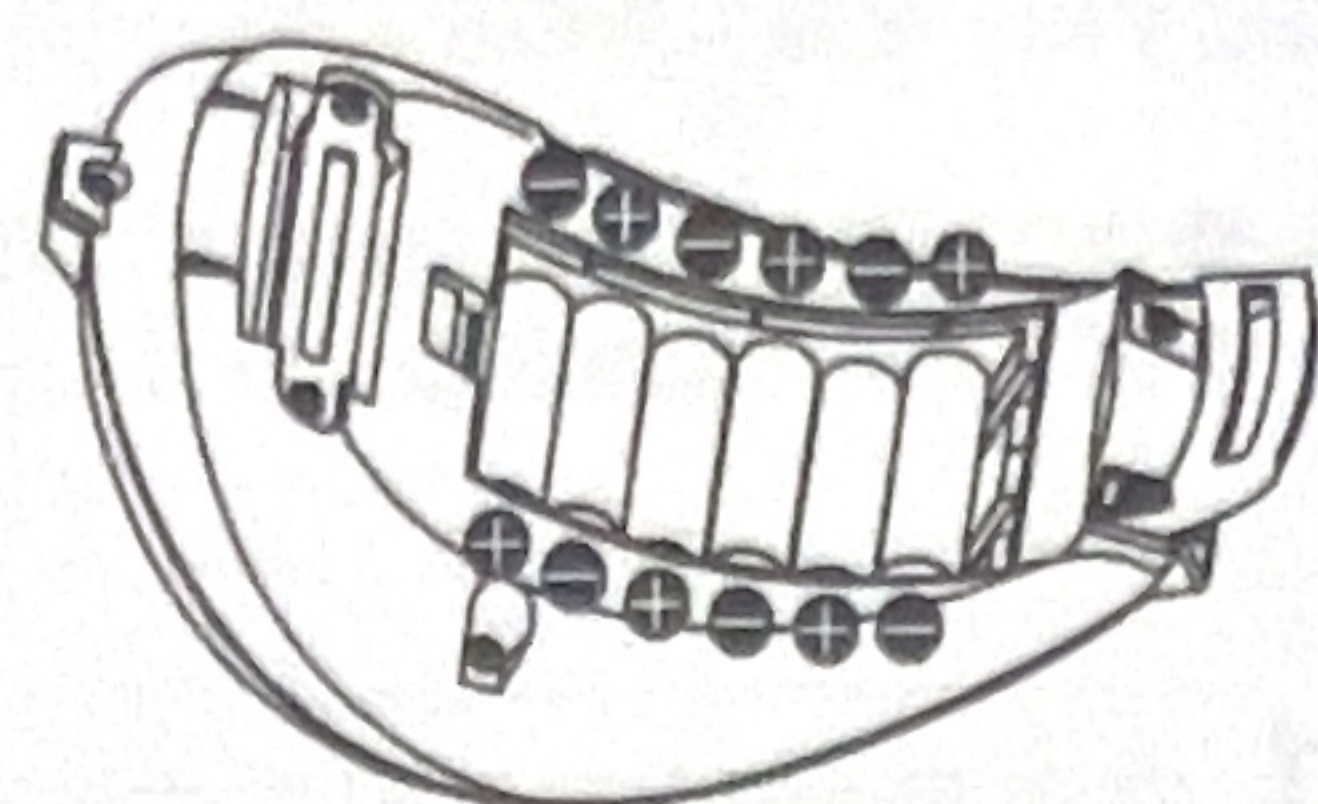
2 コインをロックレバーに強く押し付けた状態 (ロック解除) で、電池カバーを持ち上げる。



3 単3形電池 (6本) を入れる。

ご注意

- 電池の向きは、同じではありません。
(+) と (-) の向きに注意して、表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は、収納部の奥まで確実にに入れてください。
電池が浮いた状態で電池カバーを無理に取り付けると、電池カバーが破損したり外れにくくなったりすることがあります。



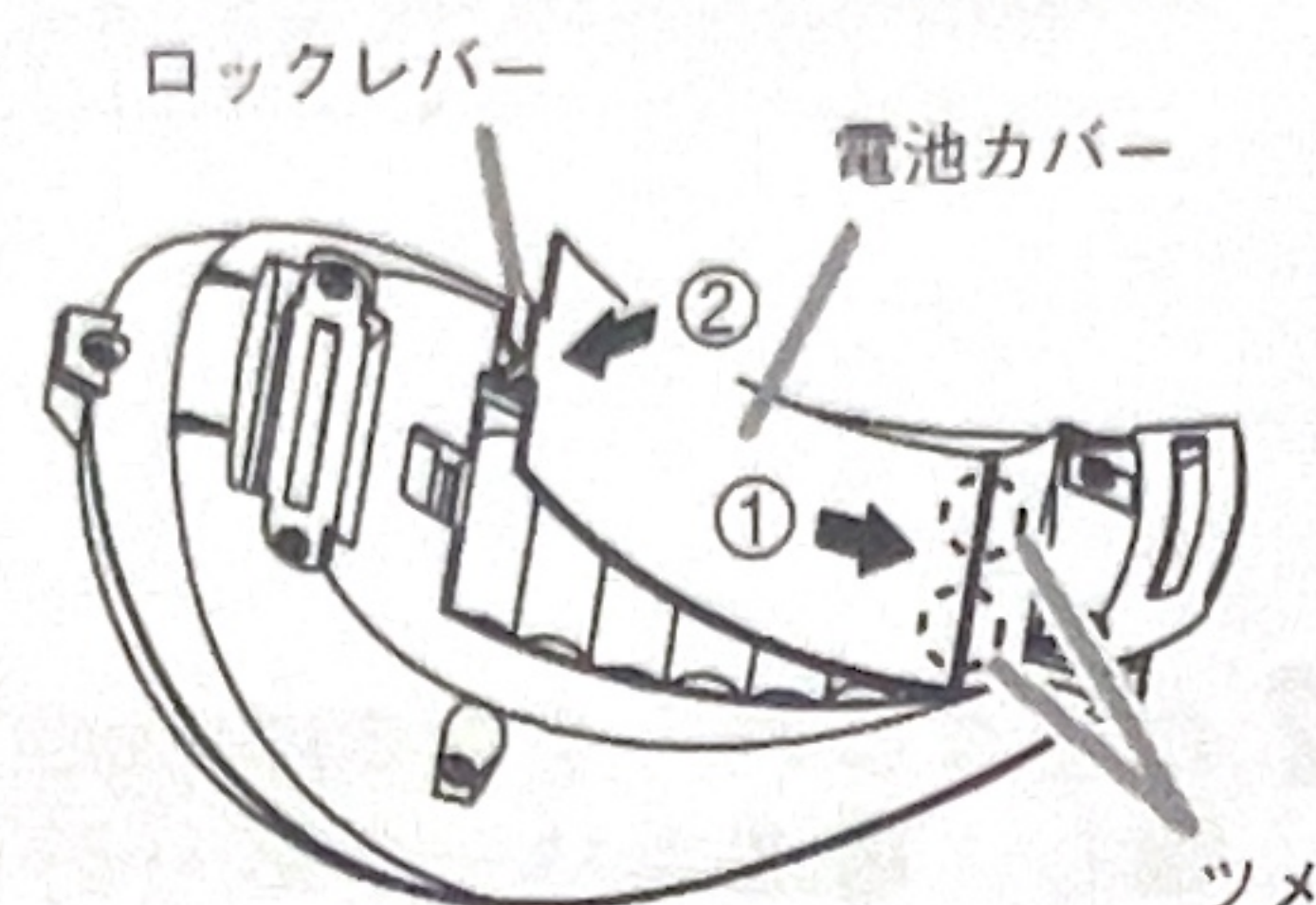
4 電池カバーを元どおりに閉める。

電池カバーのツメ部分を本体に差し込んだ後に、ロックレバー部分を矢印方向に押し込みます。

① → ② の手順で行います。

ご注意

電池カバーのロックレバーが確実に固定されていることをお確かめください。



■ バッテリースペーサー (付属品) の使いかた

付属のバッテリースペーサー 2本を電池収納部に入れて使用すると、単3形電池 4本でも拡声できます。バッテリースペーサーは、図のように電池極性表示に従って入れてください。

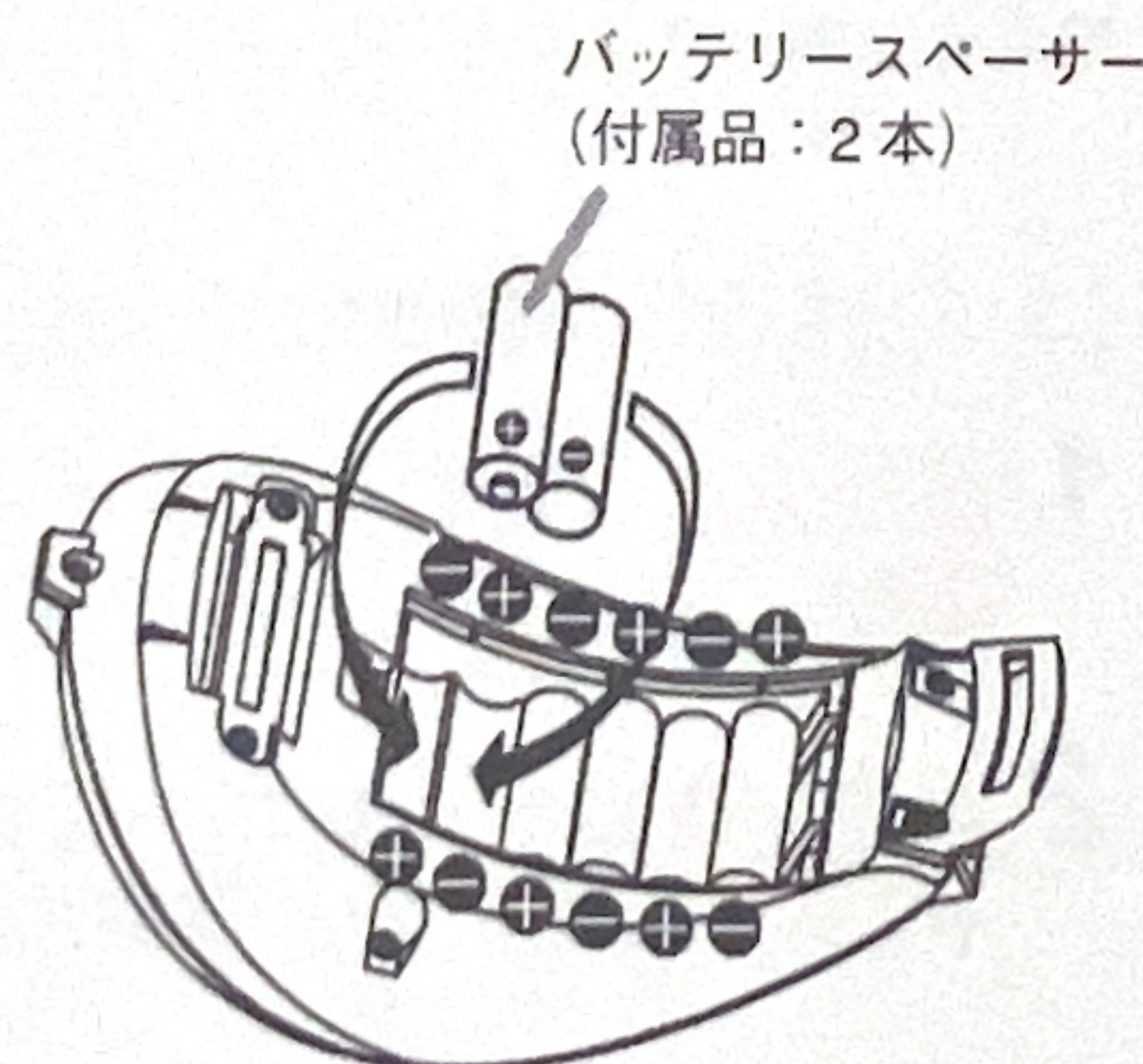
⚠ 注意

電池を 4本使用 (バッテリースペーサー使用時) から 6本使用に変更するときは、すべて新しい電池をご用意ください。
新しい電池と古い電池を混ぜて使用すると、電池の液漏れ・破裂により、火災・けがの原因となることがあります。

- ※ バッテリースペーサーを入れる位置に指定はありません。
- ※ バッテリースペーサーの (+) (-) 表示と本体の電池極性表示を合わせて入れてください。
- ※ バッテリースペーサーは、1本 (電池は 5本使用) でも使用できます。

ご注意

- 単3形電池 4本で使用する場合、音量は 6本で使用するときよりも小さくなります。
- 古い電池を廃棄するときは、バッテリースペーサーも一緒に捨てないように注意してください。



ウエストベルトの使いかた

本機は、左右どちら側の腰にも装着できます。(ウエストベルト長: 55 ~ 120 cm *)
ご使用前に、ベルトの長さを正しく調節してください。

- * 120 cm は、ベルトを引っ張ったときの最大長です。装着時の長さは、100 cm (服装着用時のウエストサイズ) を目安としてください。

メ モ

- ベルトの長さが足りないときは、別売の延長ベルト ER-1000PJ をご使用ください。
- ER-1000PJ を使用すると、ベルトの長さを約 30 cm 延長することができます。
延長のしかたは、ER-1000PJ に付属の取扱説明書をお読みください。

⚠ 注意

ベルトの装着と取り外しは、両バックルをしっかりと持って行ってください。

ベルトは伸縮性があるので、装着時に手が離れたり、片手で外したりするとバックルが当たって、けがの原因となることがあります。

■ 装着イメージ

- ベルトは、腰にぴったり合わせて装着してください。
- スピーカーは、正面に向けて使用してください。
- ヘッドセットマイクやオーディオプレーヤーなどのコード類は、背中の方に回して、余った部分をベルトにはさむと邪魔になりません。



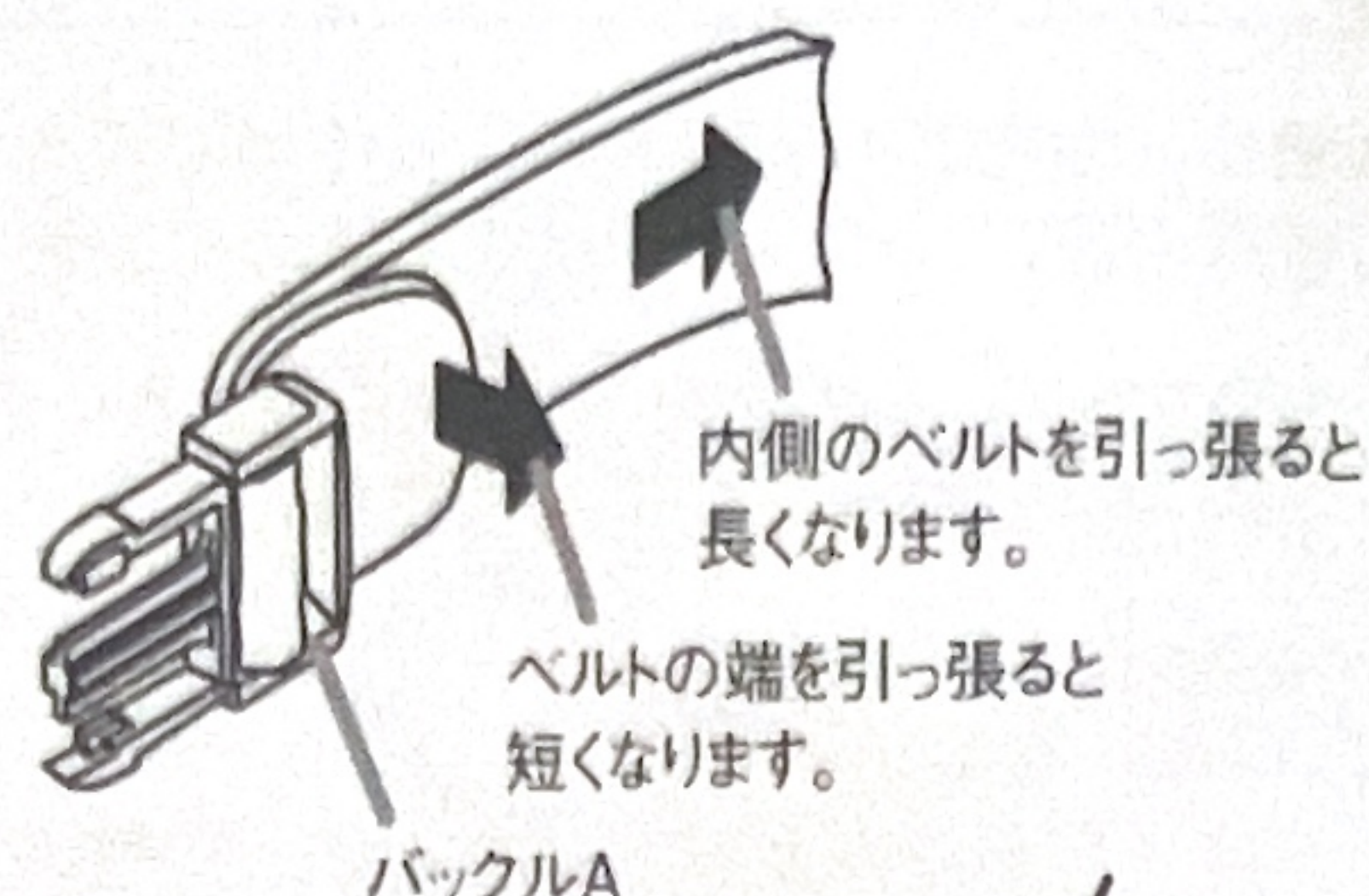
■ ベルトの装着のしかた

1 ベルトの長さを調節する。

バックル A 側のベルトで長さ調節を行います。

メモ

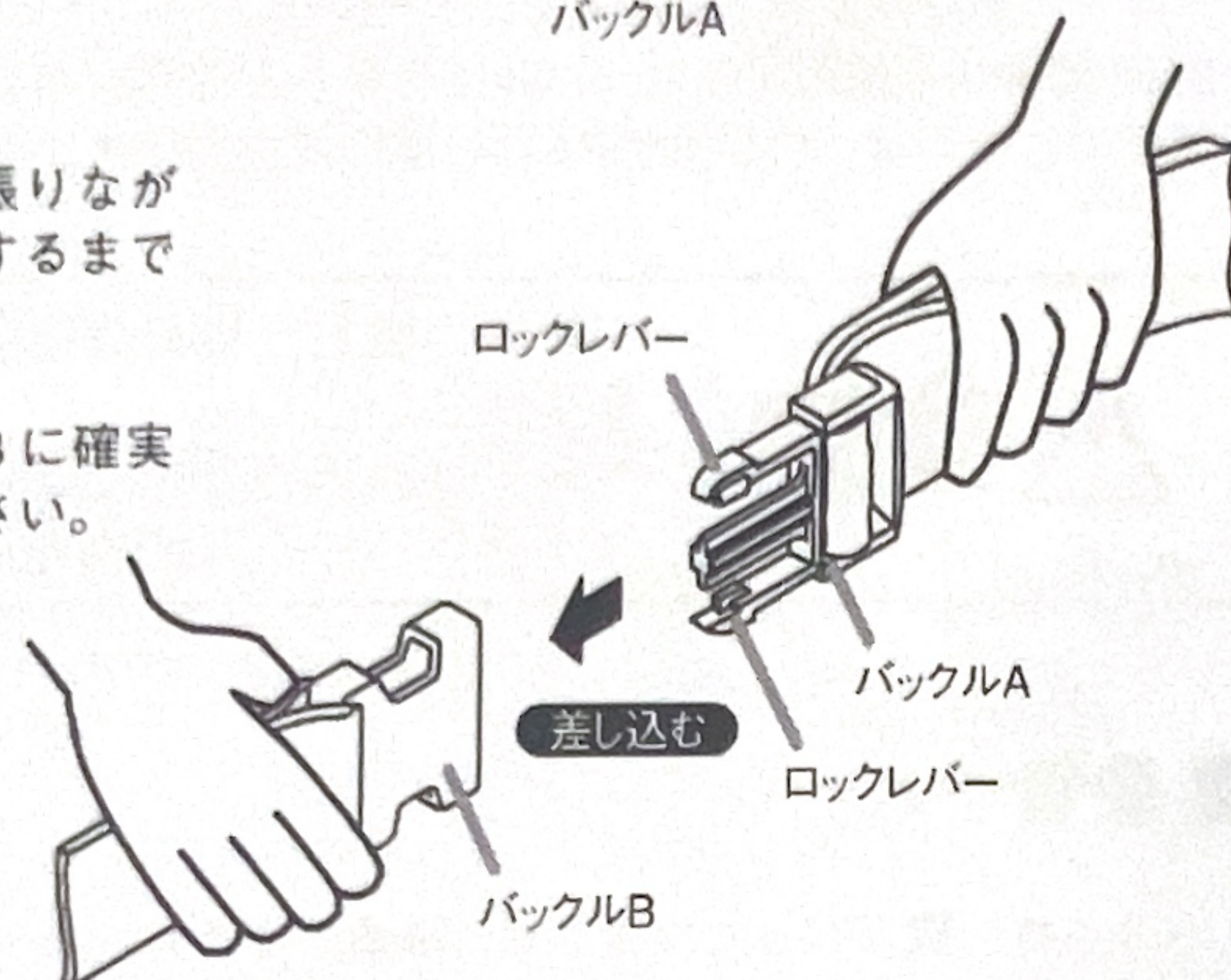
腰にぴったり合わせるため、ベルトを少し引っ張った状態で装着できる長さに調節してください。



2 本体を腰に装着する。

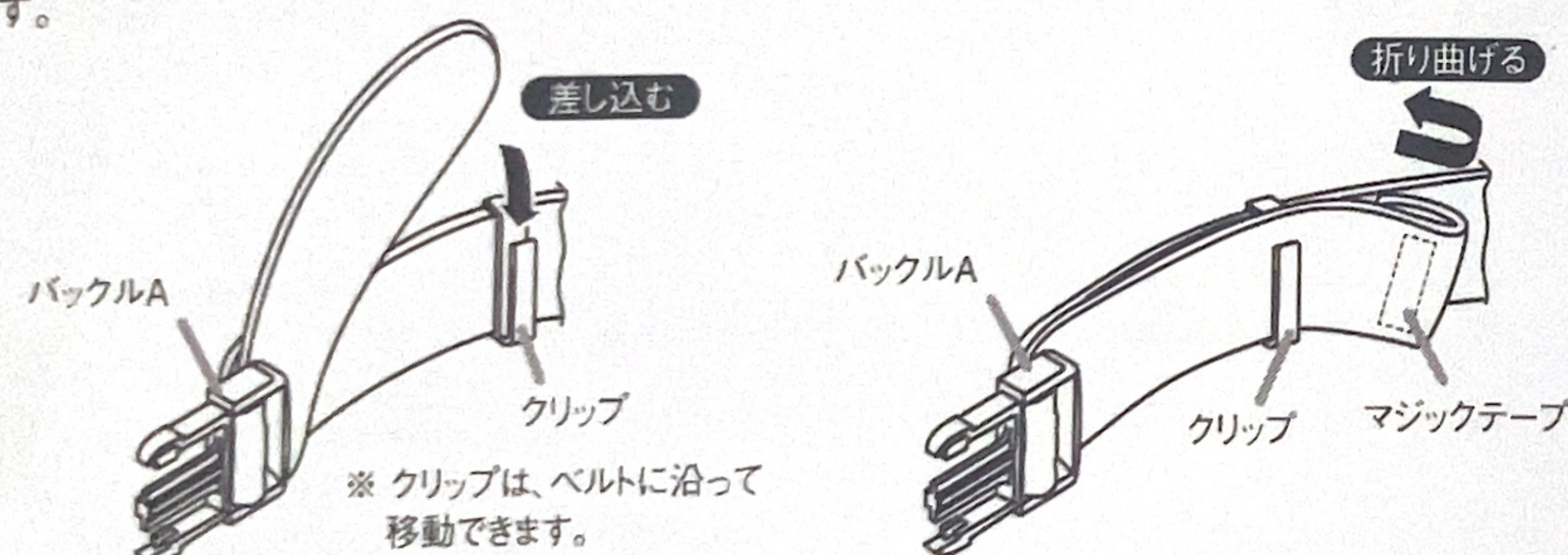
本体を装着する部位に当て、ベルトを引っ張りながらバックル A をバックル B にカチッと音がするまで差し込みます。

※ バックル A のロックレバーがバックル B に確実に差し込まれていることを確認してください。



メモ

余ったベルト部分は、下図のようにベルトクリップに差し込んでおくと、邪魔になりません。さらに、ベルトの端を折り曲げてからマジックテープで固定することで、ベルトがクリップから抜けにくくなります。



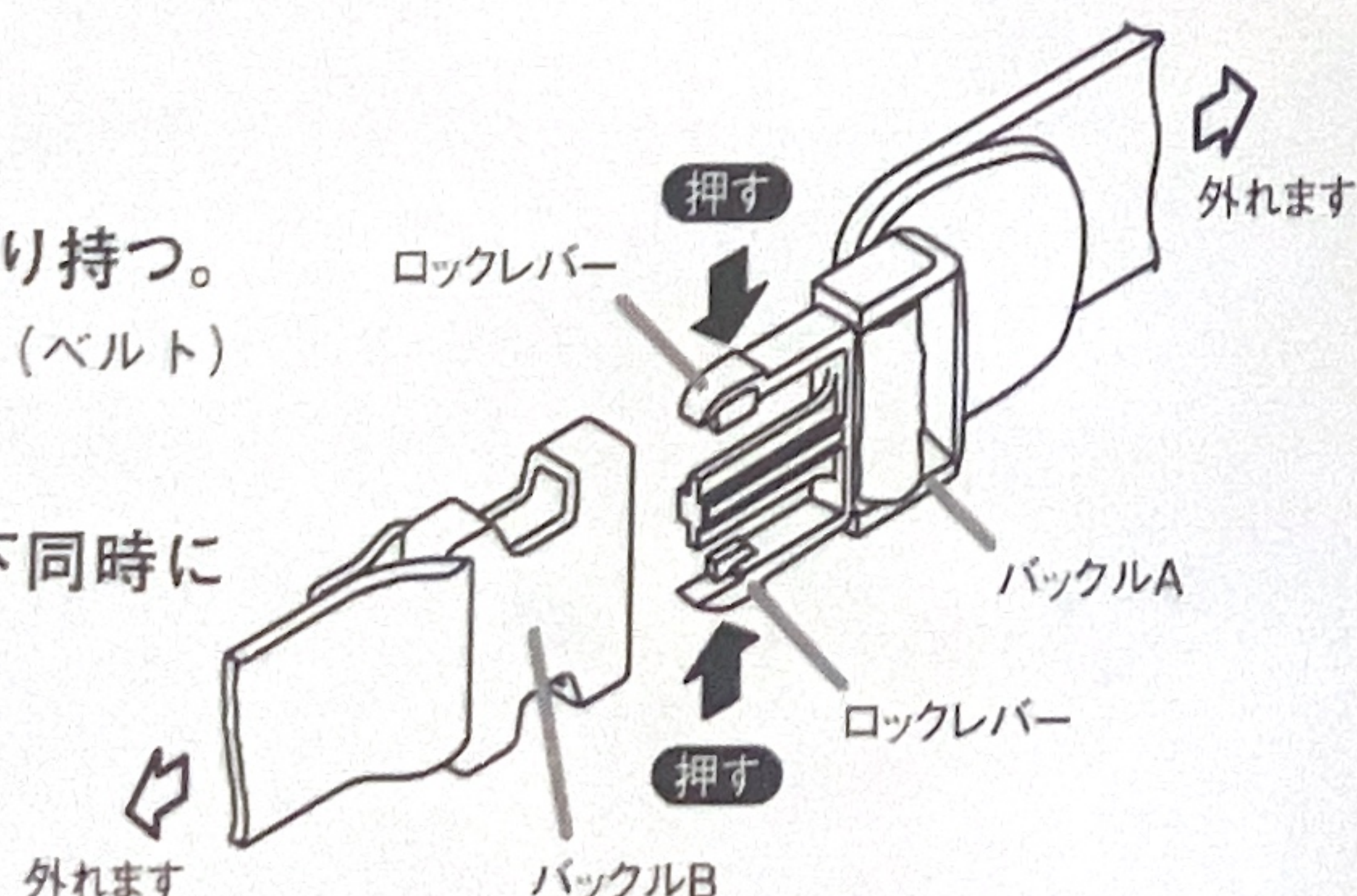
■ ベルトの外しかた

1 ベルトのバックル A と B をしっかり持つ。

本体を落下させないように、両バックル（ベルト）を持ってください。

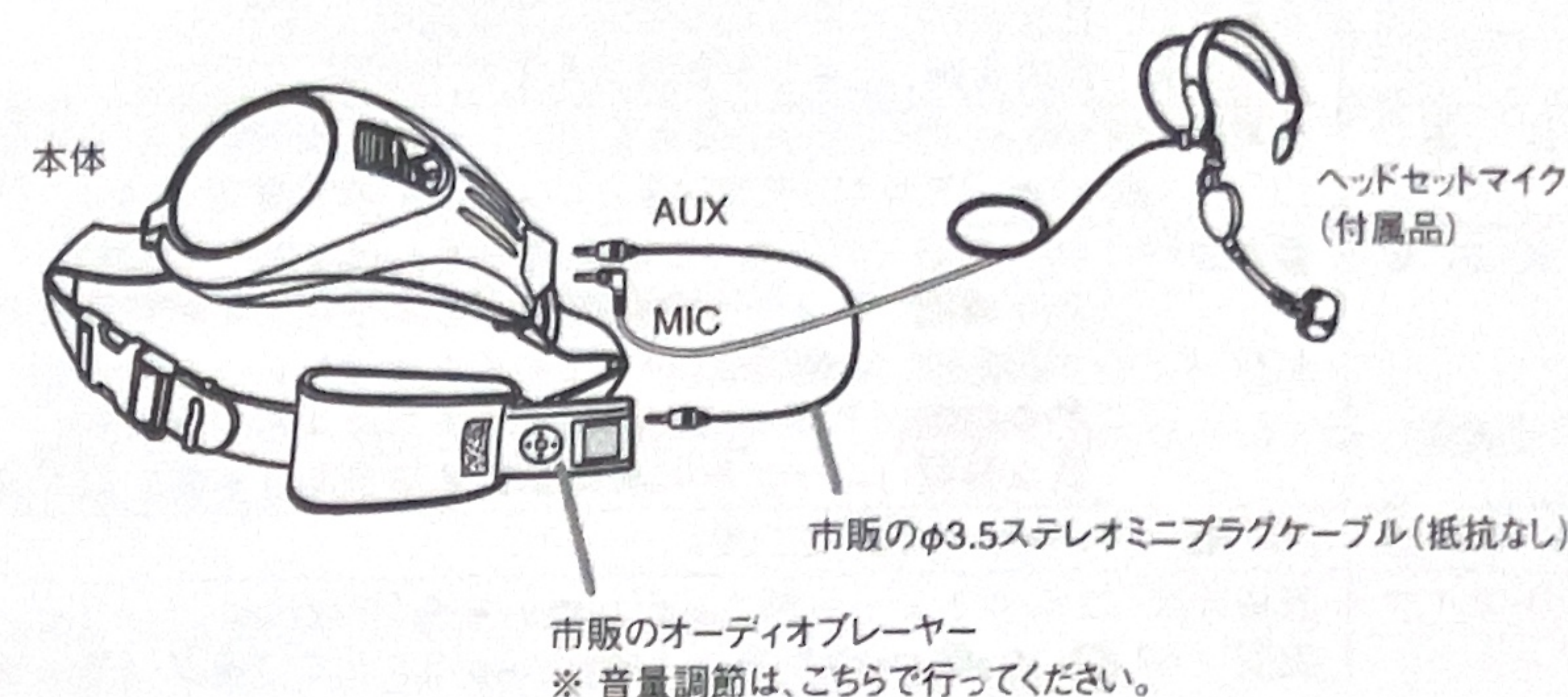
2 バックル A のロックレバーを上下同時に押す。

バックル A がバックル B より外れます。



■ 本機の上手な使いかた

- 予備入力端子 (AUX) に市販のオーディオプレーヤーを接続すると、しゃべりながら音楽も鳴らせます。



- 電池の交換時期は、以下を目安としてください。

- ① 使用中に電源表示灯が暗くなったり、点灯しなくなったりする場合。
- ② 音量の大小で、電源表示灯が暗くなったり、明るくなったりする場合。
- ③ 使用中に音量が下がったり、歪んだ音になったりする場合。

- 電源スイッチを入れても電源表示灯が点灯しない場合は、次のことを確認してください。

- ① 指定の電池が正しく入っていますか？
⇒ 指定の電池を正しく入れてください。(P. 7 「電池の入れかた」)
- ② 電池が消耗していませんか？
⇒ すべての電池を新しい電池と交換してください。(P. 7 「電池の入れかた」)

- 付属のヘッドセットマイクで拡声できない場合は、次のことを確認してください。

- ① 本体のマイク入力端子 (MIC) に正しく接続されていますか？
⇒ P. 6 「ヘッドセットマイク (付属品)」
- ② 本体の電源スイッチが入っていますか？ ⇒ P. 5 「各部の名称と使いかた」
- ③ 本体のボリューム (VOL) が上がっていますか？ ⇒ P. 5 「各部の名称と使いかた」

- オーディオプレーヤーが拡声できない場合は、次のことを確認してください。

- ① 本体の予備入力端子 (AUX) に正しく接続されていますか？ ⇒ P. 5 「各部の名称と使いかた」
- ② 本体の電源スイッチが入っていますか？ ⇒ P. 5 「各部の名称と使いかた」
- ③ オーディオプレーヤーのボリュームが上がっていますか？
⇒ 本機では予備入力の音量調節はできません。接続したオーディオプレーヤー側で行ってください。
- ④ φ 3.5 ステレオミニプラグケーブル (抵抗なし) を使用していますか？
※ φ 3.5 モノラルミニプラグケーブルを使用すると、音量が小さくなる場合があります。

[プラグの名称と形状]

ステレオプラグ	モノラルプラグ

仕様

電源 (単3形電池)	アルカリ乾電池 (LR6) : 6本 (DC9 V) または 4本*1 (DC6 V) ニッケル水素蓄電池 (HR15/51) : 6本 (DC7.2 V) または 4本*1 (DC4.8 V)
出力	定格 6 W、最大 10 W : 単3形乾電池 6本使用時 (DC9 V) 定格 3 W、最大 4 W : 単3形乾電池 4本*1使用時 (DC6 V)
通達距離*2	音声時 : 約 100 m (アルカリ乾電池またはニッケル水素蓄電池 6本使用時) : 約 80 m (アルカリ乾電池またはニッケル水素蓄電池 4本*1使用時)
電池持続時間	音声時*3 : 約 8 時間 (アルカリ乾電池 6本または 4本*1使用時) : 約 7 時間 (ニッケル水素蓄電池 6本または 4本*1使用時) AUX ステレオ入力時 (音楽再生)*4 : 約 9 時間 (アルカリ乾電池 6本または 4本*1使用時) : 約 9 時間 (ニッケル水素蓄電池 6本または 4本*1使用時)
周波数特性	300 Hz ~ 14 kHz (偏差 -26 dB)
ヘッドセットマイク	耳掛け式、エレクトレット形コンデンサーマイクロホン、 感度 : -47 dB (0 dB = 1V/1 Pa, 1 kHz)、φ 3.5 ミニプラグ (モノラル仕様)、 ヘッドバンド付き、ウインドスクリーン付き
入力	マイク (MIC) : -30 dB*5、3 kΩ、φ 3.5 モノラルミニジャック、 ファンタム電源供給 予備 (AUX)*6 : -10 dB*5、2 kΩ、φ 3.5 ステレオミニジャック (モノラル入 力対応*7)
ウエストベルト長	55 ~ 120*8 (最大伸長時) cm
使用温度範囲	0 ~ 40℃
仕 上 げ	[ER-1000A-BK] フロントケース リアケース ネット ウエストベルト ABS 樹脂、ブラック (マンセル N1.0 近似色) ABS 樹脂、グレー (マンセル N5.5 近似色) 表面処理銅板、ブラック (マンセル N1.0 近似色)、塗装 伸縮性ゴム、黒色
	[ER-1000A-WH] フロントケース リアケース ネット ウエストベルト ABS 樹脂、ホワイト (マンセル N9.3 近似色) ABS 樹脂、グレー (マンセル N5.5 近似色) 表面処理銅板、ホワイト (マンセル N9.3 近似色)、塗装 伸縮性ゴム、黒色
	[ER-1000A-YL] フロントケース リアケース ネット ウエストベルト ABS 樹脂、イエロー (マンセル 2.5Y8/12 近似色) ABS 樹脂、グレー (マンセル N5.5 近似色) 表面処理銅板、イエロー (マンセル 2.5Y8/12 近似色)、塗装 伸縮性ゴム、黒色
寸法	133 (幅) × 96 (高さ) × 222 (奥行) mm (ベルト部を除く)
質量	本体 (ベルト含む、電池別) : 480 g ヘッドセットマイク : 50 g

*1 付属のバッテリーサスペンダー使用時

*2 通達距離は、静かな街頭で新しい電池を使用したときのものです。電池容量低下、周囲雑音、風向き、障害物などの周囲環境で異なります。(JEITA TT-4501D による)

*3 音声時の電池持続時間は、本機をハウリングさせない最大ボリューム位置で連続使用したときの時間です。(JEITA TT-4501D による)

*4 AUX ステレオ入力時の電池持続時間は、市販のオーディオプレーヤーを予備入力端子 (AUX) に接続し、音楽を連続再生したときの実測値です。外部機器のボリューム位置や音楽ソースの種類などにより変動します。

*5 0 dB = 1 V

*6 予備入力の音量調節は、接続した外部機器側で行ってください。

*7 モノラル入力時は、ステレオ入力時より音量が小さくなります。

*8 120 cm は、ベルトを引っ張ったときの最大長です。装着時の長さは、100 cm (服装着用時のウエストサイズ) を目安としてください。

※ 電池は付属していませんので、別途ご用意ください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

● 付属品

ヘッドセットマイク (ヘッドバンド、ウインドスクリーン付き)	1
ウエストベルト (本体に装着済み)	1
バッテリーサスペンダー	2
マイクケーブルクリップ	1

● 別売品

延長ベルト	: ER-1000PJ
ヘッドセットマイク (交換用)	: ER-1000HS
ウインドスクリーン (交換用 10 個入り)	: WH-4000S